

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	スポーツとメディア (Sport and Media)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	メディアとの関係性を通じてスポーツの文化的・社会的価値への考察を深める。		
担当者名 (Instructor)	宮村 淳(MIYAMURA ATSUSHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2400	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016年度以降1年次入学者対象科目		

授業の目標(Course Objectives)

スポーツとメディアの関係性について、歴史的背景をひもときながら深く考察し、人類にとってスポーツが持つ意味、価値について検討する。スポーツという題材を通して、人間を、社会を、そしてビジネスの有り様を理解する一助としたい。

Examines the relationship between sports and the media, taking into account the historical background, and discusses the meaning and value of sports for humanity. Through the theme of sports, I want to help students understand society, and how business works.

授業の内容(Course Contents)

スポーツとメディアは過去 100 年間の歴史の中で、お互いにどのような影響を与えつつ、発展・変容してきたか。オリンピック、サッカー、高校野球、箱根駅伝などメディア界で高価値として知られるコンテンツを中心に見ていく。そして、そこから見えてくるスポーツの社会的価値・役割を探っていく。また、今後のスポーツメディアの役割やメガスポーツイベントのあり方についても議論していきたい。

How have sports and the media developed and transformed each other in the past 100 years? We will focus on content that is known as high value in the media world, such as the Olympics, football, highschool baseball, and Hakone Ekiden. And we will explore the social value of sports that can be seen from there. We would also like to discuss the role of sports media in the future and the sustainability of mega sports events.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション、今メディアに何が起きているか
2. スポーツとメディア 関係性の概要
3. 日本野球とメディア 1 高校野球の歴史と存在価値
4. 箱根駅伝から大学スポーツを考える
5. 日本野球とメディア 2 大学野球、そしてプロ野球
6. サッカービジネスとメディア
7. ユニバーサルアクセス権を考える。ヨーロッパのスポーツ放送
8. オリンピックとテレビメディア 1936 年ベルリン、1963 年東京
9. オリンピックの変容、スポーツの変容とメディア
10. スポーツコンテンツ配信の現在と未来
11. テレビの創成期とスポーツ、広告媒体としてのスポーツ
12. 新聞報道の現場から
13. スポーツの社会的価値・役割を考える
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

激変期を迎えているメディア情勢(ネット配信事業の拡大など)や、スポーツ界のニュースに日頃からアンテナを張り、自分なりの見解を持てるように習慣づけること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

複数回のショートレポート(60%)/授業参加度・貢献度(講義内容への質問や意見の積極的提出を、加点要素とする)(40%)

テキスト(Textbooks)

なし。

参考文献(Readings)

授業内で適宜紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)

本科目は、担当教員の実務経験、または実務に従事するゲスト・スピーカーの招聘講義等を活かした授業である。